

## 日本創成会議による発表の概要について

- ・日本創成会議による「消滅可能性都市」発表（H26.5.8）
- ・地方の人口減少の最大要因は、若者（男女）の大都市（特に東京圏）への流出。人口流出の動きは、地方と大都市（東京圏）の「経済雇用格差」に深く関連している。
- ・地方から大都市（東京圏）への若者（男女）の流出は、人口減少に拍車をかけている。
- ・地方からの人口流出がそのまま続くと、人口の「再生産力」を示す「若年女性（20～39歳）」が2040年までに50%以上減少する市町村が、896（全体の49.8%）にのぼると推計される。（このうち、2040年に人口1万人以下となり消滅可能性の高い自治体は523）
- ・「ストップ少子化戦略」として出生率の向上などに取り組むとともに、「地方元気戦略」として地方から大都市への「人の流れ」（特に東京一極集中）に歯止めをかけることが必要であると提言している。
- ・消滅可能性都市896全リストに幸手市が載った。（県内では6市）  
若年女性人口（20 - 39歳）変化率 62.7%



(参考)

	2010年国勢調査 総人口に占める 20歳未満の女性 割合	2005年と2010年 の女性(0～39 歳)増減率	1995年と2005年 の女性(0～39 歳)増減率
幸手市	7.7%	7.46%	23.71%

2010年国勢調査総人口に占める20歳未満の女性割合の県内市の平均は、8.8%。